

## 三鷹市障がい者自立支援協議会（令和4年度第2回）議事要旨

日時：令和4年7月25日（月）18時30分～20時

場所：オンライン審議

出席委員：大木幸子、岡田敏弘、新津健朗、山中博正、檜垣知子、中野弘子、土屋秀雄、大野通子、  
瀧澤勤、加藤亮一、海老原恵理子、鶴田明子、工藤勇太、内藤千鶴枝、松井治幸、  
高橋久美子

事務局：立仙障がい者支援課長、荻野障がい者相談支援担当課長、他 10名

傍聴者：1名（資料閲覧のみ）

東京都相談支援従事者現任研修受講生：14名

（順不同、敬称略）

### ＜配布資料＞

- ・ グループメンバー表 (資料1)
- ・ 委員名簿 (資料2)
- ・ 実態調査 対象者 (資料3)
- ・ 第1回協議会での意見 (資料4)
- ・ 障がい者調査 調査票 (資料5)
- ・ 障がい児調査 調査票 (資料6)
- ・ 医療的ケア児・者調査 調査票 (資料7)
- ・ 専門部会の開催状況について (資料8)
- ・ 調布基地跡地福祉施設について (資料9)
- ・ みたか防災マルシェ会場案内・参加団体一覧 (資料10)
- ・ 当事者部会からの意見 (参考資料)
- ・ 第2回タイムスケジュール（予定）
- ・ 意見シート

### 1 障がい者等の生活と福祉実態調査について

- 会長  
障がい者等の生活と福祉実態調査について、事務局より説明願いたい。
- 事務局  
資料3、4に基づき説明。
- 会長  
難病の対象者が変更になったなどの説明があったが、全体について質問や意見はあるか。  
なければ、調査票について事務局より説明してもらい、グループに分かれて検討したい。
- 事務局  
資料5～7、参考資料に基づき説明。
- 会長  
これまで調査の目的や活用方法などについて意見が出ており、市で資料を作って調査票に

同封すると説明があったが、グループワークを始める前に、自立支援協議会としての調査の目的を改めて確認し、共有しておきたい。意見はあるか。

○ A 委員

自分が調査に回答するとしたら、どのような目的なのか、自分にとってどのような良い影響があるのかと考える。三鷹市の今後の施策に反映させるということは、どうすれば障がい者が生活しやすくなるのかということに対する調査だと思った。目的としては、市や関係機関の皆さんで解決策を考えていくために困りごとを聞かせてほしいということだと思っている。

○ B 委員

福祉サービスがどのような利用状況なのかは、特に重要なポイントだと思う。

○ 会長

生活の実態をきちんと明らかにできるといいということだ。問題ない方もいるかもしれないが、そうでない方はどのようなことで困っているかを把握して、次の施策に活かしたいという感じか。

○ C 委員

A 委員と同意見で、皆さんの困りごとを教えてください、それについて三鷹市の施策として解決できるような取り組みにつなげていけたらいいと思う。例えば、障がい児調査で「教員数が不足している」「トイレの設備が不十分」といった意見が多くあったとしたら、何かアクションを起こすきっかけになると思うので、困りごとを把握するのは非常に大切だ。

○ 会長

具体的な困りごとには個別性があるが、一定の困りごとを拾い上げられる調査として、「あなたの声を聞かせてください」というスタンスが大事だ。一朝一夕に、調査結果がこのように活用され、その結果これができるとはなりにくい面もあると思う。

「三鷹市が障がい者にとってより暮らしやすいまちになっていくために、施策に活かしたいので、ぜひあなたの声を聞かせてください」というようなフレーズが、同封する資料にあるといいと皆さんの意見を聞いて思った。

○ D 委員

同封資料についても自立支援協議会の意見を聞いてほしいので、調査の目的の文案を確認したい。

それから、制度的な内容について、もう少し補足説明があった方が回答する人にとって分かりやすいのではと感じたので、その点も踏まえてグループで議論してほしいと思った。

○ 会長

1点目は、もし現時点で文案があれば確認したいということだが、いかがか。2点目は、グループワークの際に、ぜひ制度や用語の補足説明が必要なところは意見を出してほしいということだ。

○ 事務局

現時点で示せる文案はないが、前回は調査の目的、対象者、回答方法などを記載していた。今回は、目的について多く意見をいただいているので、その点にさらにクローズアップした依頼文とするか、ぱっと見て分かるような資料をつけたいと考えている。

- 会長  
次回の協議会で案を示していただき、議論したいがよいか。
- 事務局  
承知した。
- 会長  
では、グループワークを開始する。

<5つのグループに分かれてグループワーク>

グループ	検討した調査票
A	障がい者調査
B	障がい者調査
C	障がい児調査
D	障がい児調査
E	医ケア児・者調査

- 会長  
それでは、各グループの検討内容を共有したいので、Aグループから発表願いたい。
- E委員【Aグループ発表】  
障がい者調査について意見交換した。資料5の4ページ「介助・援助の状況について」の項目は、緊急時の介助・援助だけでなく、将来的な親亡き後についての設問も追加してもらえるといい。  
続いて、問13、14、15については、結果が出たらサービス量や利用方法について改善に活用し、調査結果の報告とともに成果として見えるようにしてほしい。問15の選択肢は、サービス名称が並んでいるだけなので、補足説明が必要ではないか。  
14～15ページ「差別と権利擁護について」の項目は、重要なのでしっかりニーズが引き出せるといいと思う。制度や権利について説明があるといい。問40は、既に何らかの制度を活用しているケースもあり、自由記述などでなぜ成年後見制度を利用したいと思わないのかを把握できるとよいのではないか。  
自由記述欄がもう少し増えるといいとは思いますが、分量が多く大変だと感じる。
- D委員【Bグループ】  
障がい者調査の11～12ページ「情報入手について」を中心に話し合った。問27-1の選択肢に「使いにくい、やや使いにくい」とあるが、障がい者のためのしおりが使いにくい理由を把握する設問がないと、答えてもどのように反映されていくのか疑問だという意見があった。また、令和4年度からしおりが新しくなったので、それを踏まえた設問となるとよいと思った。  
問28～30は、どのような情報を得たいのかによって回答内容が違ってくるので、設問の目的を明確にしないと答えづらい。それから、選択肢に手話や点字、対面が漏れているので、しっかり追加してほしい。
- 副会長【C・Dグループ】  
C・Dグループ合同で、障がい児調査について話し合った。調査方法について、紙ベースだけでなく、Web調査を活用してもいいのではないか。また、本人と一緒に保護者が回答する

ケースも想定されるので、調査票にふりがながあってもいいと思う。

続いて、医療的ケア児・者調査でスクールバスについての項目があるが、障がい児調査でも同様の項目を入れてもよいのではないかと、問 18-1 の選択肢に「相談支援」を追加する、問 35 の選択肢で「誰もいない」に回答した方には、自由記述欄があるといいと意見があった。

○ F 委員【E グループ】

医療的ケア児・者調査について、もう少しコンパクトな調査票にした方がよいのではないかという意見が多かった。

問 16 は、利用したいがなぜ利用できていないかまで何うのが本来の調査目的ではないか。問 19 の選択肢はもう少し細かくして、どのように過ごしたいのかを副問として聞いてもいいと思う。問 31 の自由記述欄が小さいので、最終ページに移動させ、スペースをもっと大きくしてほしい。

それから、全ての調査に共通で、調査票に目次を付けてはどうか。1冊まるごともらうと、全部答えなければならないと感じるので、自分の答えたいところだけを回答できるようにして、回答意欲や回答率が上がるようにしてほしい。

○ 会長

各グループから報告いただいたが、メンバーから追加はあるか。

○ D 委員

事務局に伺いたいのが、視覚障がい者の方向けに、調査票に音声コードを付けるなどの配慮はあるのか。

○ 事務局

音声コードは、何らかの対応をする予定である。

○ 会長

他はいかがか。自分の担当グループ以外にも気になっていることは挙げてほしい。

個人的には、全調査共通で、最後の自由記述欄のスペースがもっと大きいといいと思う。回答する方が、設問にはない言いたいことをたくさん記入できるようにしておくと、そこに大事な内容が書かれるのではないかと。

それから、性別を答える選択肢が「男性、女性、その他」となっているが、「その他」は答える方が嫌な思いをするかもしれないので、「答えたくない」などの方が適切だと思う。

本日出た意見は、事務局で整理していただき、修正案は次回の協議会で示せるか。

○ 事務局

次回、修正したところをフィードバックするので、確認いただきたい。

○ 会長

分量が多いという意見、もっと細かく聞いた方がいいという意見があって調整が難しいと思うが、両論併記でもいいので案を出してほしい。言い足りないことがある方は、意見シートに記入して提出してほしい。

## 2 専門部会について

○ 会長

続いて、専門部会について、資料 8 に基づき各部会長から報告願いたい。

- E 委員  
相談支援部会について報告
- F 委員  
生活支援部会について報告
- C 委員  
就労支援部会について報告
- G 委員  
当事者部会について報告
- 会長  
各部会活発に活動いただいている。コロナの影響もあり実施方法も検討しながらの活動だ  
と思うが、事務局から各部会の開催案内があるので、可能な場合は、部会を超えてぜひ参加し  
てほしい。

### 3 その他

#### (1) 調布基地跡地福祉施設について

- 会長  
では、調布基地跡地福祉施設について、事務局から説明願いたい。
- 事務局  
資料9に基づき説明。
- 会長  
質問や意見はあるか。前回の協議会で、経過が分からないので定期的に進捗状況を報告し  
てほしいという意見があった。9月の事業者公募の後も報告してほしい。

#### (2) みたか防災マルシェについて

- 会長  
最後に、防災マルシェについて、E 委員から報告願いたい。
- E 委員  
資料10に基づき報告。
- 会長  
当事者部会からは報告はあるか。
- D 委員  
当事者部会ではなく自立支援協議会の有志でパネルを作る。一度有志で集まって話し合い  
をする予定。
- 会長  
自立支援協議会を周知するために、自立支援協議会通信を配布したり、パネル展示したり  
してもいいと思うがいかがか。
- E 委員  
賛成。いろいろな人同士が知り合う機会でもあるので、自立支援協議会の活動内容を目に  
見える形で分かってもらえるといいと思う。

- 会長  
自立支援協議会通信を防災マルシェで配布してよいか。
  - 事務局  
グループワークの写真なども載っているが、問題ないか。
  - 会長  
写真が嫌な方は、事務局に伝えてほしい。1人でも嫌な方がいたら、写真が入っている号は配布しないこととする。
- (3) その他
- 会長  
議題は以上になるが、他に皆さんからお知らせなどはあるか。
  - D 委員  
当事者部会で「障がい者のためのしおり」について意見交換し、今年度いくつか変更された点がある。自立支援協議会のみなさんにも見てほしいので、配布してもらえないか。
  - 事務局  
次回の協議会で、皆さんに配布する。
  - 会長  
自動的にもらえる機会がないので、いろいろなところに配布してもらい、支援者の方からも渡していただけるといいと思う。
  - E 委員  
外国籍の方で、市からの通知が、これまでは通称名で送られていたが、突然本名で送られてきて傷ついた体験をしたという方が身近にいる。市に問い合わせたところ、システム上の理由からとのことだったが、宛名をどうしても変更できないのであれば説明が必要だと思った。実態調査の際に、市から突然名前が違うものが送られてきたら問題だと思うので、きちんとした対応をお願いしたい。
  - 事務局  
その件を把握していないので、確認する。
  - 会長  
名前はアイデンティティーの根幹なので、本人が呼ばれたい名前できちんと送らなければならない。確認の上、対応を検討してほしい。  
他になれば、事務局より次回の案内をお願いする。
  - 事務局  
次回、第3回自立支援協議会は、令和4年8月29日(月)午後6時30分から、教育センター3階大研修室で開催する予定だが、今後の状況によってはオンライン開催とするかもしれない。
  - 会長  
本日オンライン審議で何か不都合があった方は、今後のオンライン開催時の工夫点として反映していきたいので、意見シートに記入して提出してほしい。